

教員活動評価実施報告書

平成29年度

埼 玉 大 学

教育・研究等評価室

(内部用)

1. 概要

本学では、「教員個人の活動状況を点検することによって、その活動の一層の活性化を図り、本学の教育・研究の質の向上と運営等の改善に資する」という目的の下に、例年、教員個人の教育研究等の活動評価を実施している。平成 28 年度の教員活動についても、下表のとおり評価を実施した。

実施期間	教員活動報告書提出期間：平成 29 年 5 月 29 日（月）～8 月 7 日（月） 部局長評価期間：平成 29 年 9 月 19 日（火）～11 月 27 日（月）
対象者	平成 29 年 4 月 1 日現在で本学に在籍している教員 ※新規採用教員、休職中の教員及び教諭は除く
対象領域	4 領域（教育活動、研究業績、大学運営への貢献、社会への貢献）
評価対象期間	原則過去 3 年間
評価対象者	442 名（提出率 100%）

2. 評価の実施体制、方法

「埼玉大学における教員活動評価の基本方針」、「埼玉大学における教員活動評価の実施要項」、各部局の教員活動評価実施要領に従い、評価対象教員が提出した平成 28 年度実績分の教員活動報告書に基づいて、部局長が所属教員の評価を行った。

3. 部局別評価対象教員数

人文社会科学部研究科（学際系）	45 名
人文社会科学部研究科（経済系）	48 名
教育学部（附属教育実践総合センター含む）	103 名
理工学研究科	212 名
教育機構	14 名
研究機構	14 名
情報メディア基盤センター	3 名
国際本部	3 名

4. 評価の尺度

3. 活動は極めて優れている
2. 活動は期待される水準に達している
1. 活動は不十分で改善を要する

5. 全体の評価結果

埼玉大学は、地域活性化の中核となり、世界/日本の教育研究拠点として光を放つことを目指して、平成28年度からの第3期中期目標・中期計画期間においては「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉 ～多様性と融合の具現化」という新たなビジョンの下で、「地域活性化を目指した融合科学研究・開発の推進と人材育成」、「地域ニーズに即した人材育成と教員養成」、「強みを有する分野の国際教育研究拠点化」という3つの戦略をたて、様々な取組を行っている。これを踏まえ、教育研究拠点、地域活性化というキーワードに対応した教員活動である教育、研究、社会貢献の3領域について、教員活動の評価結果を概観する。

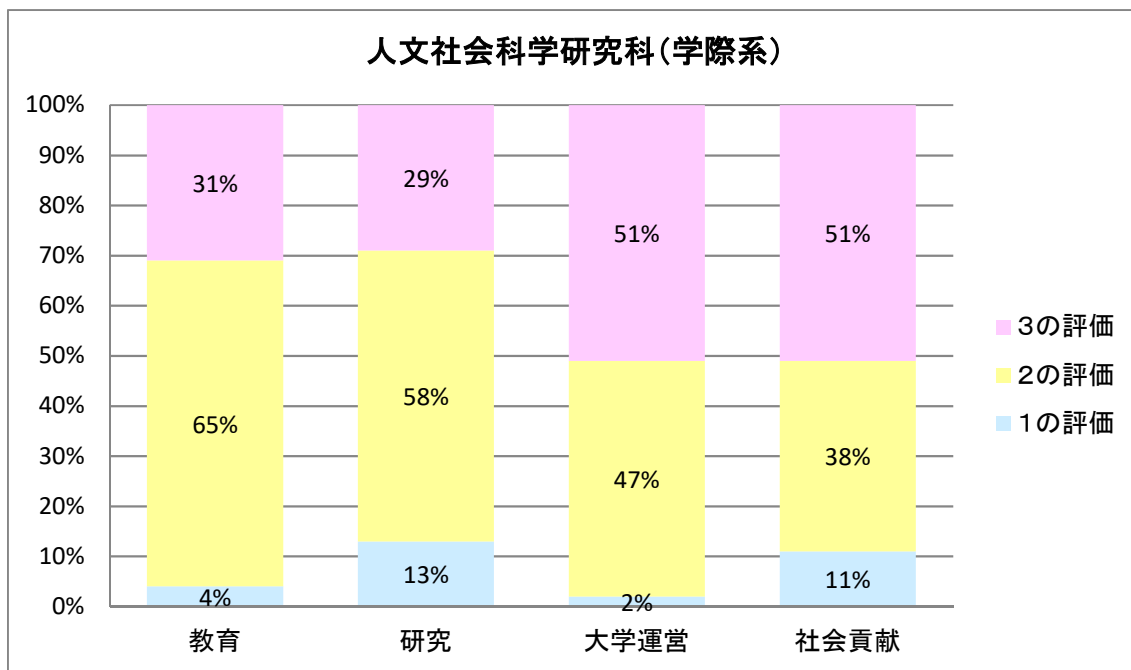
大学全体でみると、教育領域で3の評価を受けた教員の割合は約32%、2の評価は約67%、1の評価は約1%であった。研究領域では、3の評価は約39%、2の評価は約56%、1の評価は約5%であった。社会貢献領域では、3の評価は約39%、2の評価は約58%、1の評価は約3%であった。3領域のバランスをみると、今回の評価結果では、いずれの領域の評価でも、ほぼ同じような分布となっている。前回の評価と比べると、3の評価を得た教員が、社会貢献領域では、4ポイント増加している。教育領域と研究領域でも、微増した。このため、特に社会貢献領域では、前回の評価結果に基づき教員活動の改善がなされたといえる。

各部局の評価は、今年度も全体としておおむね適切に行われていると評価することができる。もっとも、部局横断的に見ると、領域によっては各部局ごとに評価の分布が大きく異なっている。部局によって評価基準が異なるために単純な比較ができないことはもちろんであるが、3の割合の相対的に低い部局に教員活動の一層の活性化のための工夫を求めるとともに、3の割合の相対的に高い部局には、より高い水準を目指しての評価基準の検討を望みたい。また、各部局で把握している課題については、次年度へ向けて、教員活動のさらなる活性化のために改善に積極的に取り組むことを期待する。評価及び改善の取組みを可視化することは、今後一層求められるので、とくに評価の結果明らかになった教員活動の課題とそれに対する改善策について、部局長コメントをより充実させることを求めたい。さらに、本学の教員活動の優れた点を外部に積極的に公表していくことも必要となるので、そのような活動について積極的にコメントで言及することも求めたい。

今回の評価では、教育、研究、社会貢献のいずれの領域においても向上がみられたが、各教員が第3期中期目標・中期計画期間における大学改革に即して、活動の一層の向上に努めることを望む。

6. 部局別評価結果

(1) 人文社会科学研究科(学際系) (評価対象人数: 45 名)



	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	14	31%	13	29%	23	51%	23	51%
2の評価	29	65%	26	58%	21	47%	17	38%
1の評価	2	4%	6	13%	1	2%	5	11%

○部局長コメント

① 評価の高い教員数

11 名

② 評価の低い教員数

0 名

③ 評価結果の総括、問題点等

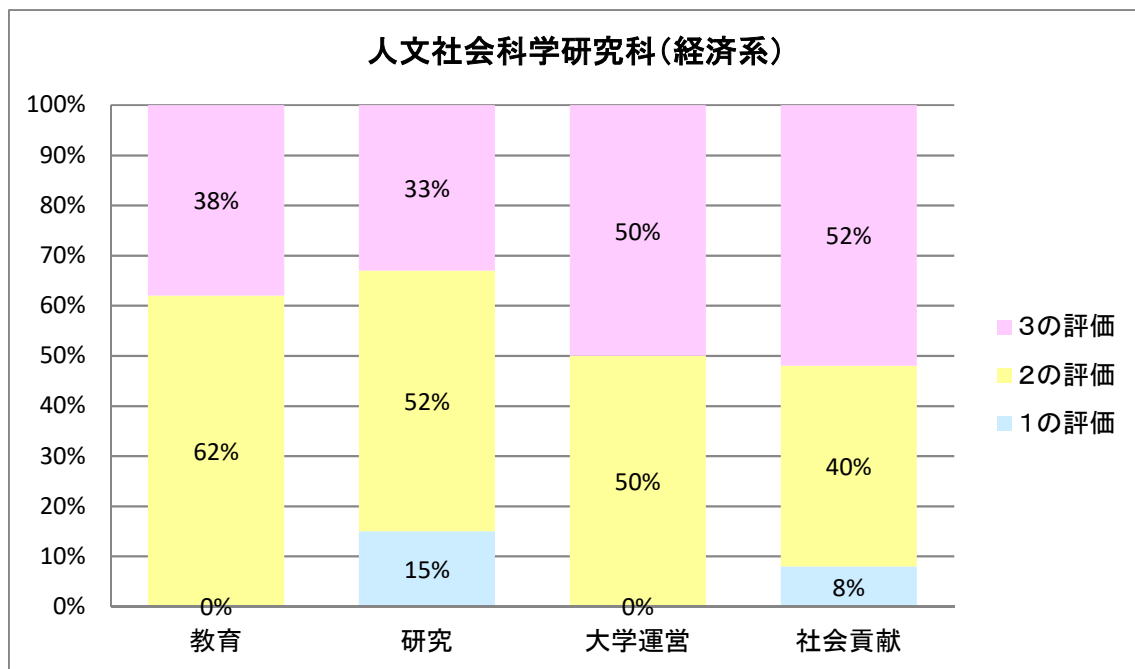
「社会貢献」「研究・開発活動」の領域で評価が1の割合が高くなっているのので、この点について構成員に改善を求めたい。実績の記入漏れが散見される点も問題であり、注意を促すことにしたい。本年度は各教員と十分に意見交換する時間がとれなかったのので、学部長として来年度はこの点への十分な準備改善が必須である。

④ 特記事項

なし

(内部用)

(2) 人文社会科学研究科(経済系) (評価対象人数: 48 名)



	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	18	38%	16	33%	24	50%	25	52%
2の評価	30	62%	25	52%	24	50%	19	40%
1の評価	0	0%	7	15%	0	0%	4	8%

○部局長コメント

① 評価の高い教員数

12ポイントの教員5名、11ポイントの教員8名、10ポイントの教員10名

② 評価の低い教員数

4ポイントの教員0名、5ポイントの教員0名、6ポイントの教員1名

③ 評価結果の総括、問題点等

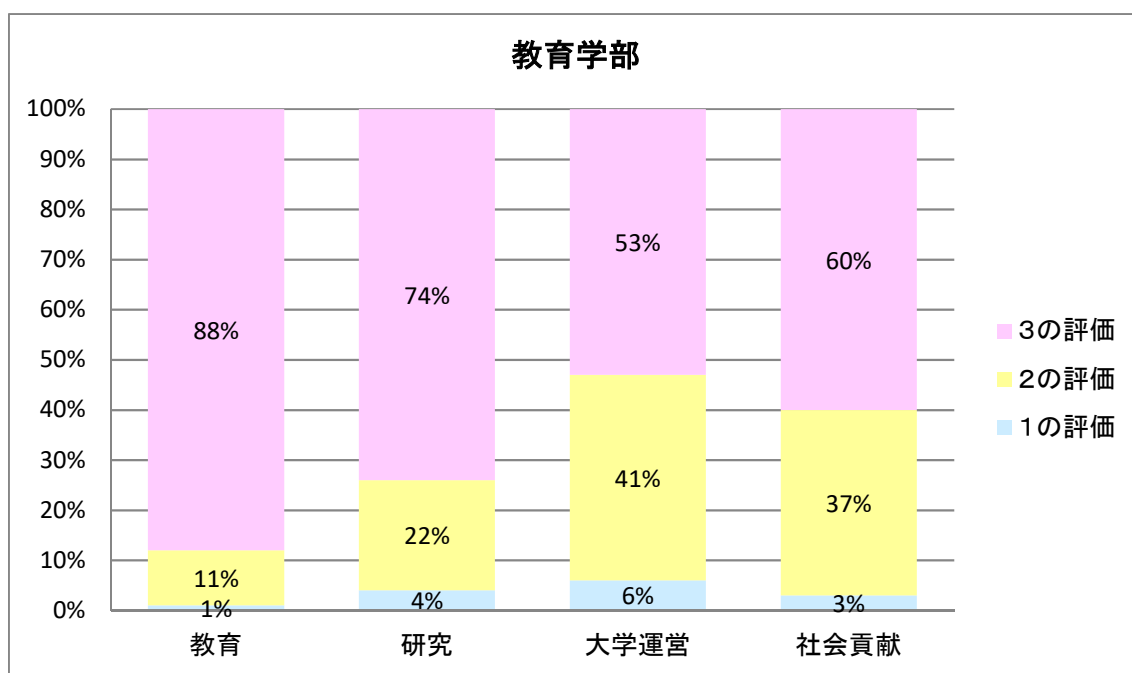
特になし

④ 特記事項

業務内容の異なる外国人教員、助教については、業務外の領域評価を2とした。

(内部用)

(3) 教育学部 (附属教育実践総合センター含む) (評価対象人数: 103 名)



	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	91	88%	76	74%	55	53%	62	60%
2の評価	11	11%	23	22%	42	41%	38	37%
1の評価	1	1%	4	4%	6	6%	3	3%

○部局長コメント

① 評価の高い教員数

すべての領域で「3」と評価された者: 27 名

② 評価の低い教員数

すべての領域で「1」と評価された教員数: 1 名

いずれかの領域で「1」と評価された教員数: 10 名

③ 評価結果の総括、問題点等

評価「3」について領域別にみると、「教育活動」が最も多く「大学運営」が最も少ない。評価「1」の割合が最も多い領域も「大学運営」である。教育学部では、授業には熱心だが、学部運営等にはやや消極的な教員が多いことが示唆される。分野別にみると、芸術系の教員の教育活動が相対的にやや低調であるが、おおむね各分野の教員は良好な教員活動を展開している。要望事項としては、毎年評価しているので、3年

(内部用)

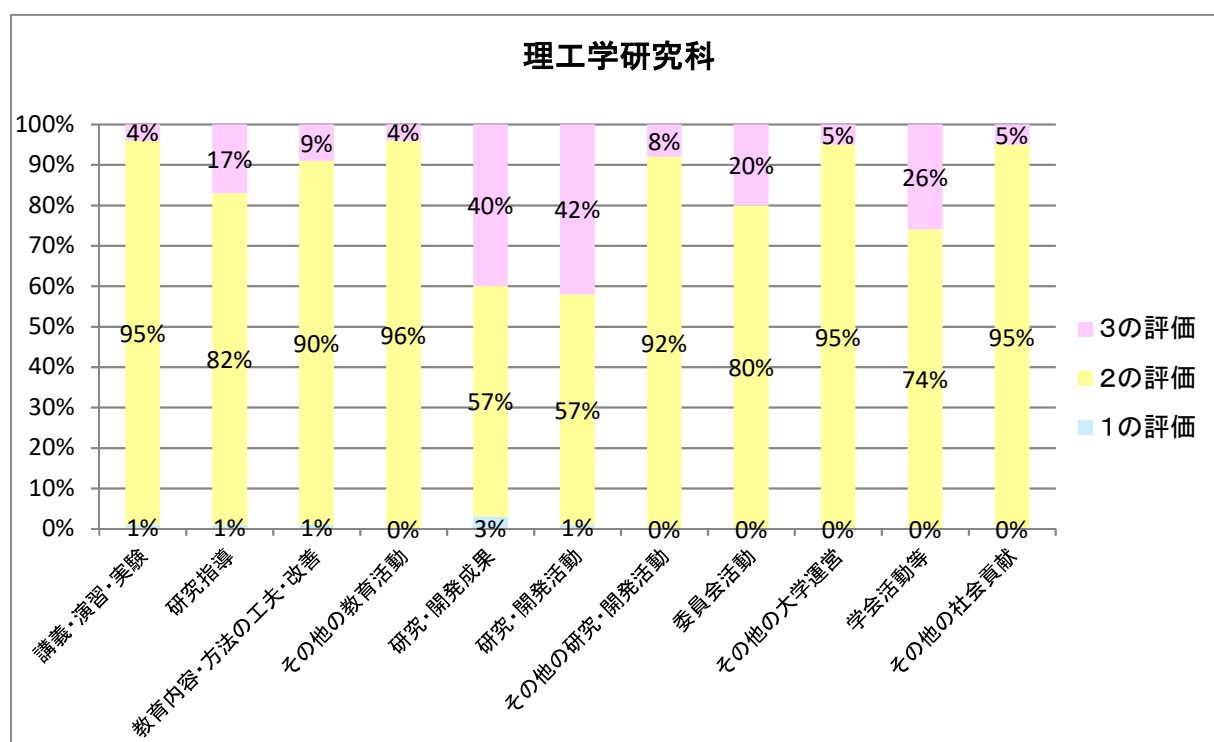
間の評価ではなく、単年度評価にした方が学部長としては評価しやすい。長期研修、休職等の特別な事情がある場合は特記事項に記載すればいいのではないかな。

④ 特記事項

学生の課外活動の顧問として、精力的に学生を指導し全国レベルの大会で毎年のように高い成績を上げている教員がいる。学生には「学生表彰」があるが、教員には、こうした活動の評価するものがない。授業活動や課外活動等で顕著な業績をあげた教員を評価する方策（ベスト・ティーチャー賞等）」についてご検討いただきたい。

(内部用)

(4) 理工学研究科 (評価対象人数: 212 名)



	教育							
	講義・演習・実験		研究指導		教育内容・方法の工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	10	4%	37	17%	19	9%	9	4%
2の評価	201	95%	174	82%	192	90%	203	96%
1の評価	1	1%	1	1%	1	1%	0	0%

	研究					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	85	40%	89	42%	16	8%
2の評価	120	57%	121	57%	196	92%
1の評価	7	3%	2	1%	0	0%

(内部用)

	大学運営				社会貢献			
	委員会活動		その他の大学運営		学会活動等		その他の社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	42	20%	10	5%	55	26%	10	5%
2の評価	170	80%	202	95%	157	74%	202	95%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

○部局長コメント

① 評価の高い教員数

3の評価を3点、2の評価を2点、1の評価を1点として、全ての評価項目を2点とした場合の合計点より6点高い教員3名、5点高い教員7名、4点高い教員12名、3点高い教員35名、2点高い教員58名、1点高い教員56名

② 評価の低い教員数

0名

③ 評価結果の総括、問題点等

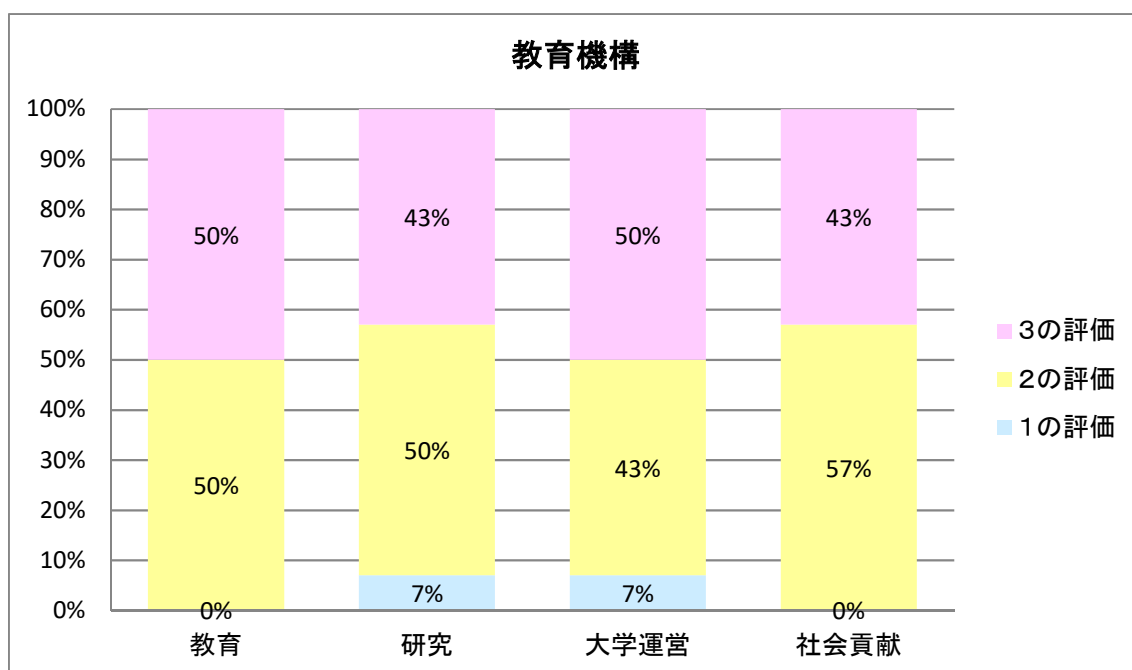
従来の方法を踏襲して、研究科長及び副研究科長の合議による評価を行った。評価に当たっては、各コース長の意見も参考にした。

④ 特記事項

なし

(内部用)

(5) 教育機構 (評価対象人数：14 名)



	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	7	50%	6	43%	7	50%	3	43%
2の評価	7	50%	7	50%	6	43%	4	57%
1の評価	0	0%	1	7%	1	7%	0	0%

※英語教育開発センターでは、社会貢献活動領域の評価を教育活動領域で実施することをセンターの評価実施要領で定めているため、社会貢献項目については、英語教育開発センター所属教員を除いた人数をグラフ化した。

○部局長コメント

① 評価の高い教員数

すべて評価3の教員が2名いる。1つだけ評価2、ほかは評価3の教員は、2名である。

② 評価の低い教員数

評価1が1つだけある教員が2名いる。また、すべてが評価2の教員が2名いる。

③ 評価結果の総括、問題点等

1つ評価1がある教員のうち1名は、保健センターの教員であり、研究・開発の項目なので問題ありとは捉えていない。もう1名は、平成28年10月に赴任した教員で

(内部用)

あり、大学運営の項目なので問題ありとは捉えていない。それ以外の教員は、すべて評価2以上なので、期待される水準、あるいはそれ以上の活動をしていて、問題ある教員はいないといえる。

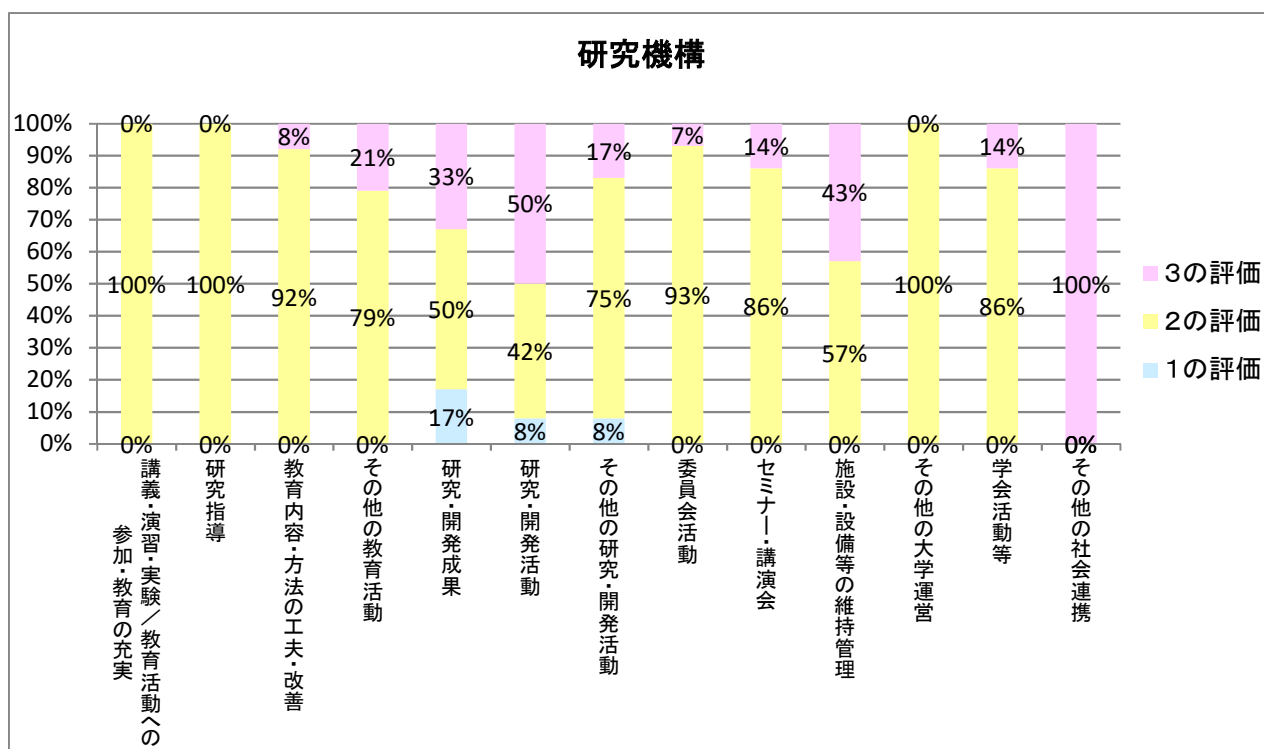
④ 特記事項

基盤教育研究センターの教員は、平成27年度後期に各2科目でクォーター制の試行実験をし、28年度からの本格実施では、課題締切日を直後の授業日ではなく、1週間後の授業日にするなど、クォーター制に適した授業運営の工夫を報告していて、大学の教育へ大きな貢献をしている。

また、社会調査研究センターの教員は、朝日新聞社との「朝日・埼玉大学参院選アンケート調査」を実施し、社会への大きな貢献をした。

(内部用)

(6) 研究機構 (評価対象人数: 14名)



	教育							
	講義・演習・実験／ 教育活動への参加・教育の充実		研究指導		教育内容・方法の 工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	0	0%	1	8%	3	21%
2の評価	14	100%	12	100%	11	92%	11	79%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	研究					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発 活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	4	33%	6	50%	2	17%
2の評価	6	50%	5	42%	9	75%
1の評価	2	17%	1	8%	1	8%

(内部用)

	大学運営							
	委員会活動		セミナー・講演会		施設・設備等の 維持管理		その他の 大学運営	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3 の評価	1	7%	1	14%	3	43%	0	0%
2 の評価	13	93%	6	86%	4	57%	14	100%
1 の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	社会貢献			
	学会活動等		その他の社会連携	
	人数	割合	人数	割合
3 の評価	2	14%	2	100%
2 の評価	12	86%	0	0%
1 の評価	0	0%	0	0%

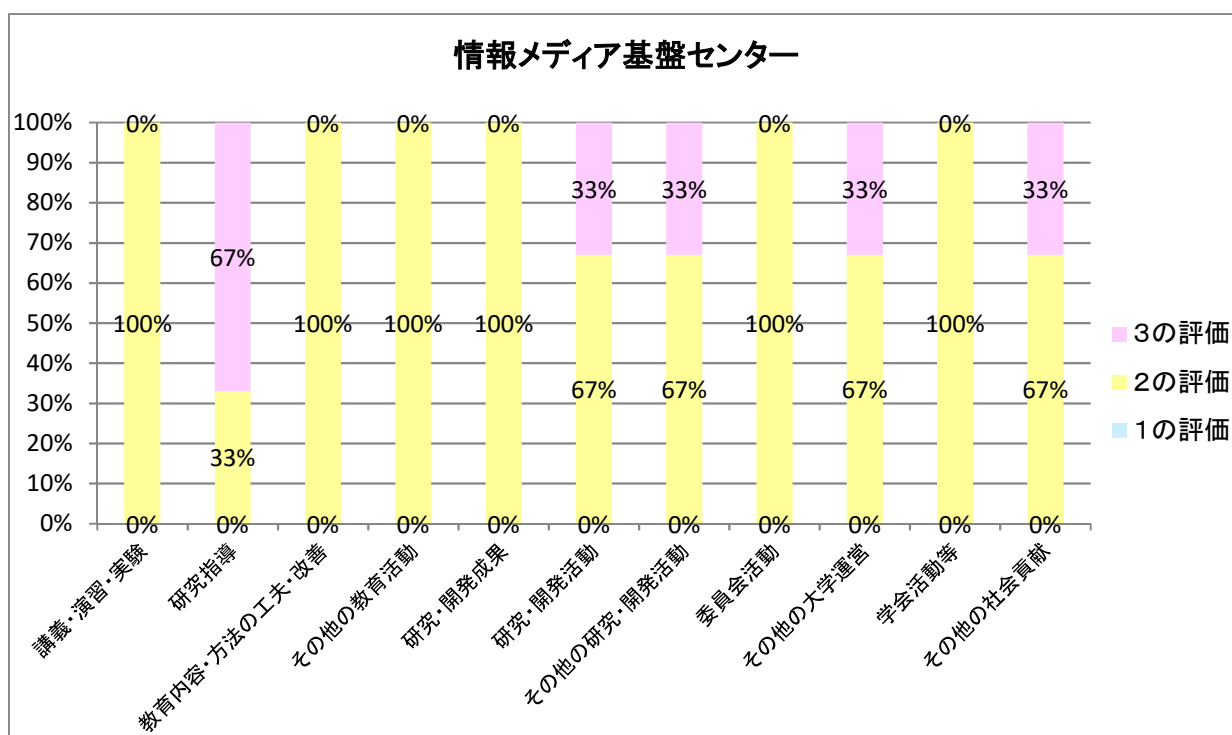
※研究機構では各センター等で評価項目が異なるため、各評価項目の合計人数が一定ではない。

○部局長コメント

- ① 評価の高い教員数
特になし
- ② 評価の低い教員数
特になし
- ③ 評価結果の総括、問題点等
特になし
- ④ 特記事項
特になし

(内部用)

(7) 情報メディア基盤センター (評価対象人数：3名)



	教育							
	講義・演習・実験		研究指導		教育内容・方法の工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	2	67%	0	0%	0	0%
2の評価	3	100%	1	33%	3	100%	3	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	研究					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	1	33%	1	33%
2の評価	3	100%	2	67%	2	67%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

(内部用)

	大学運営				社会貢献			
	委員会活動		その他の大学運営		学会活動等		その他の社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	1	33%	0	0%	1	33%
2の評価	3	100%	2	67%	3	100%	2	67%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

○部局長コメント

① 評価の高い教員数

なし

② 評価の低い教員数

なし

③ 評価結果の総括、問題点等

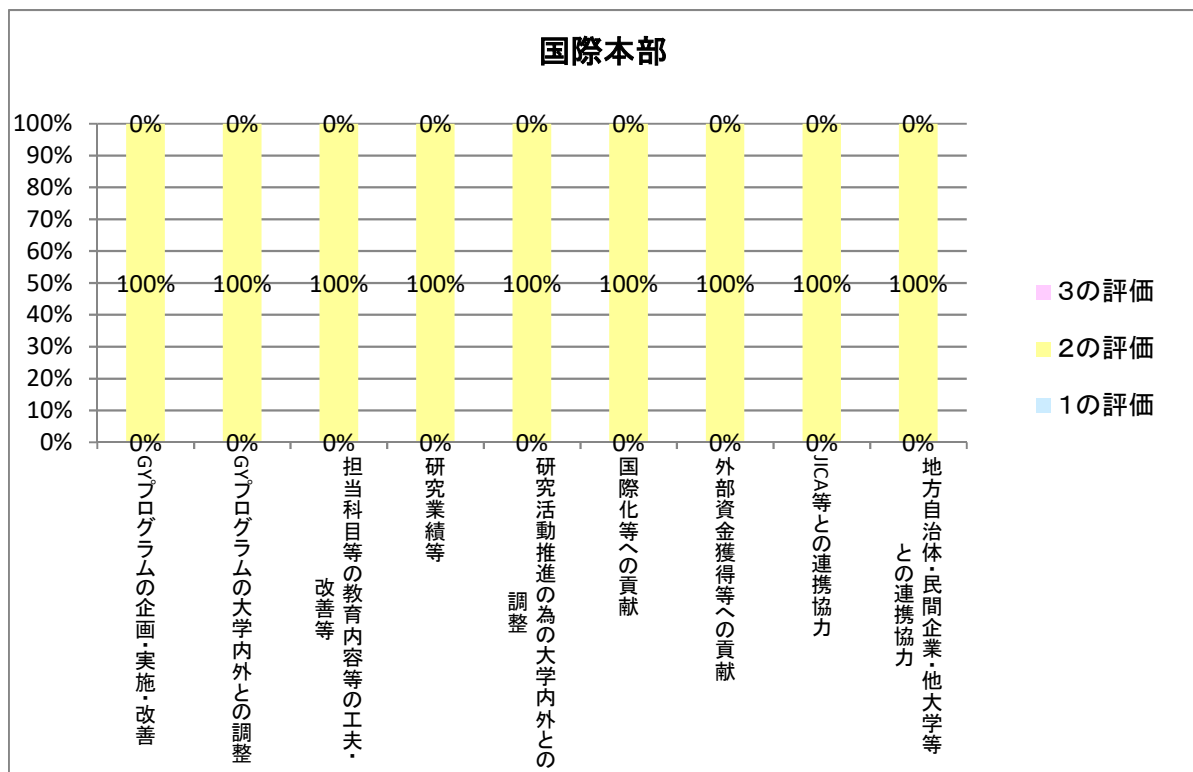
全ての教員が教育・研究及び必要なセンター業務について十分な活動を行っている。

④ 特記事項

領域評価は行わない。

(内部用)

(8) 国際本部 (評価対象人数: 3名)



	教育					
	GYプログラムの企画・実施・改善		GYプログラムの大学内外との調整		担当科目等の教育内容等の工夫・改善等	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	0	0%	0	0%
2の評価	3	100%	3	100%	3	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

	研究			
	研究業績等		研究活動推進の為に大学内外との調整	
	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	0	0%
2の評価	3	100%	3	100%
1の評価	0	0%	0	0%

(内部用)

	大学運営				社会貢献			
	国際化等への貢献		外部資金獲得等への貢献		JICA 等との連携協力		地方自治体・民間企業・他大学等との連携協力	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3 の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2 の評価	3	100%	3	100%	3	100%	3	100%
1 の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

○部局長コメント

- ① 評価の高い教員数
該当なし
- ② 評価の低い教員数
該当なし
- ③ 評価結果の総括、問題点等
特になし
- ④ 特記事項
なし